寝屋川市地域公共交通計画

アクションプラン

令和８年(2026)年10月

寝屋川市

Ⅰ－1　寝屋川市地域公共交通計画　アクションプラン一覧（施策）

施策の展開方向		施策名	施策概要	実施年度	所管・事業主体	アクションプラン	評価指標
公共交通サービスの利用促進	①公共交通サービスの情報発信	(1)実施事業および福祉施策の周知	本市で実施している交通弱者への移動支援・外出促進事業について、ホームページや広報誌、回覧板等を通じて幅広い世帯の市民に周知します。 交通弱者や重度障がい者の社会参加を促し、シルバー世代の介護予防施策として実施している事業について、公共交通の利用促進を図ります。	令和7(2025)年 ～ 令和11(2029)年	高齢介護室 障害福祉課 交通事業者	1 － 1	・路線バスの1日平均乗降客数 ・ねやBUS黒原ルートの1日平均乗降客数 ・ねやBUS木田・河北ルートの1日平均乗降客数 ・ねやBUS木屋ルートの1日平均乗降客数 ・鉄道4駅の乗降客数 ・鉄道の満足度 ・路線バスの満足度 ・シルバー世代の「ほぼ毎日外出する人」の割合 ・シルバー世代の運転免許自主返納の割合
		(2)ICカード・ポイントサービスの普及促進	京阪バスでは全国の交通系ICカードが利用でき、その普及促進とともに、ポイントサービス（バス利用者に対しポイントを付与することによる交通系ICカードの利用促進）が行われています。引き続き、本市のホームページや広報誌等で周知を行い、公共交通の利用促進を図ります。	令和7(2025)年 ～ 令和11(2029)年	交通政策課 交通事業者	1 － 2	
		(3)運転手の確保に向けた取組検討	少子高齢化等に伴う人口減少により全国的な労働力人口が減少する中、2024年問題以降、公共交通を維持する上で必要不可欠な運転手等の人材不足が、危機的な状況に陥っています。 運転手等の人材確保に向け、就職を希望する学生や若者等に、公共交通の「社会的意義」や運転手の「やりがい」を伝える情報発信を行います。	令和7(2025)年 ～ 令和11(2029)年	交通政策課 交通事業者	1 － 3	
	②公共交通利用への転換	(1)運転免許自主返納の促進	シルバー世代の交通事故を防ぐため、運転免許自主返納を促進し、公共交通に移行するよう、引き続き、ホームページや広報誌等で周知徹底を図ります。	令和7(2025)年 ～ 令和11(2029)年	交通政策課	2 － 1	
公共交通サービスの利便性向上と持続性の確保	③公共交通の利便性向上	(1)シルバー世代等への公共交通利用促進事業の充実	シルバー世代等の外出促進及び公共交通の利用促進を図るため、「バス利用促進事業」を実施してきましたが、紙券による運用からICカードを活用した運用を検討します。また、高齢介護室が実施している「高齢者交通系ICカード購入補助事業」についても、事業目的や内容、対象等が重複しているため、事業を統合し、公共交通（鉄道・バス）の利用促進になるよう検討します。	令和7(2025)年 ～ 令和11(2029)年	交通政策課 高齢介護室 交通事業者	3 － 1	
		(2)ねやBUSの利便性向上	京阪バス路線のうち3路線（旧タウンくる）が廃止になったことから、市民の移動手段を確保するため、令和6年4月1日から市にて「ねやBUS」を運行しています。 現在、利用者アンケート調査結果の内容を踏まえ、交通系ICカードの利用やバリアフリー化、運行方法等を検討し、市民の利便性の向上を図ります。	令和7(2025)年 ～ 令和11(2029)年	交通政策課	3 － 2	
		(3)乗合い事業の拡大検討	現在、乗合い事業は3地区（成田地区、仁和寺地区、河北地区）にて運行しています。今後、事業スキームを見直し、公共交通空白地域への拡大を検討します。	令和7(2025)年 ～ 令和11(2029)年	交通政策課 交通事業者	3 － 3	
		(4)EVバス等の推進	令和32（2050）年のカーボンニュートラルの達成や脱炭素社会の実現に向けたEVバス（Electric Vehicle Bus）の導入や、乗車定員の増加が見込める全長11m級のバス（長尺バス）車両の導入、バリアフリーの観点から、ノンステップバス（出入り口の段差をなくして乗降性を高めた低床バス）の全車導入を進めます。	令和7(2025)年 ～ 令和11(2029)年	交通事業者	3 － 4	
	④公共交通の持続性と機能強化への取組	(1)シェアサイクル等の実証実験	シェアサイクルは、市内に複数のポート（自転車の貸し出し・返却場所）を配置し、いつでもどのポートでも自転車の貸し出し・返却が可能な、短時間・短距離の移動を目的とした新しい交通システムです。公共交通を補完し、地域の移動手段の一つとして、近年、全国で導入が進められています。 公共交通機能の補完・代替、地域の活性化等に資する新たな本市の交通システムとして、シェアサイクルの有効性及び課題を検証するため、運営会社と協定を結び、協働で実証実験を進めます。	令和7(2025)年 ～ 令和11(2029)年	交通政策課	4 － 1	
		(2)駅前広場の整備検討	寝屋川市駅周辺地区は、本市の地理的な中心部に位置し、市内最大の交通結節点であり、市内各所から最もアクセスの高いエリアであることから、都市計画道路「対馬江大利線」の供用や、ターミナル化構想に基づく公共施設の集約配置による、新たな交通体系や人の流れの変化等を踏まえ、安全で利用しやすく、かつ、市の玄関口にふさわしい魅力ある駅前空間にリニューアルします。 萱島駅周辺エリアは、「かやしまリノベーションプロジェクト」の一つの取組として、電車とバス・タクシーとの連絡機能の強化を図り、公共交通結節点としての駅前広場にリニューアルします。また、交通の通過点ではなく、人が憩い、集える交流の場や、新たなモビリティサービスへの対応、災害時の防災活動拠点など、これからの時代に求められる機能を検討します。	令和7(2025)年 ～ 令和11(2029)年	交通政策課 都市一課 道路管理課 道路建設課	4 － 2	
		(3)都市計画道路「萱島讃良線」の整備検討	「かやしまリノベーションプロジェクト」の一つの取組として、都市計画道路「萱島讃良線」の整備により、周辺エリアの道路とのネットワークを形成し、萱島駅の交通結節点機能の強化を図るとともに、道路整備による延焼遮断帯の確保、無電柱化による災害時の避難経路の確保により、安全性・快適性の向上を図ります。 また、門真市が整備予定の「萱島線」と一体的な整備ができるよう、連携して取り組みます。	令和7(2025)年 ～ 令和11(2029)年	交通政策課 都市一課 道路建設課	4 － 3	
		(4)新たな公共交通サービス導入可能性の検討	高齢化の進展等による、交通弱者や運転免許自主返納者の増加、路線バスの運転手不足による減便・廃止等、今後ますます深刻化するラストワンマイル問題に代表される移動課題の解消に向け、地域ニーズに応じた新たな公共交通手段（AIオンデマンド交通、自動運転、グリーンスローモビリティ等）の導入可能性を検討します。	令和7(2025)年 ～ 令和11(2029)年	交通政策課	4 － 4	

Ⅰ－２　施策ごとのアクションプラン（取組計画）

１－１

施策名	施策概要	目的	所管
(1)実施事業および福祉施策の周知	本市で実施している交通弱者への移動支援・外出促進事業について、ホームページや広報誌、回覧板等を通じて幅広い世帯の市民に周知します。 交通弱者や重度障がい者の社会参加を促し、シルバー世代の介護予防施策として実施している事業について、公共交通の利用促進を図ります。	交通弱者や障がい者等の移動支援事業の周知	高齢介護室 障害福祉課 交通事業者

年度	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)
取組計画	移動支援事業の周知　（令和7（2025）年度～令和11（2029）年度）				
成果・実績	交通弱者等への移動支援、外出促進事業及び重度障害者等移動支援事業について、市ホームページや運営委託先の社会福祉協議会のホームページ、広報誌や福祉のてびき等に掲載し、周知を図った。	外出支援サービス、交通弱者等への移動支援、外出促進事業及び重度障害者等移動支援事業について、市ホームページや運営委託先の社会福祉協議会のホームページ、広報誌や福祉のてびき等に掲載し、周知を図っている。			

Ⅰ－２　施策ごとのアクションプラン（取り組み計画）

１－２

施策名	施策概要	目的	所管
(2)ICカード・ポイントサービスの普及促進	京阪バスでは全国の交通系ICカードが利用でき、その普及促進とともに、ポイントサービス（バス利用者に対しポイントを付与することによる交通系ICカードの利用促進）が行われています。引き続き、本市のホームページや広報誌等で周知を行い、公共交通の利用促進を図ります。	ICカード制度を活用した公共交通サービスの普及促進	交通政策課 交通事業者

年度	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)
取組計画	ポイントサービスの周知　（令和7（2025）年度～令和11（2029）年度）				
成果・実績	・ICカードを利用した公共交通サービス（京阪バスIC１dayチケット及びポイントサービス）について、市ホームページに掲載するとともに、京阪バスにおいては、バス車内や営業所、案内所等で「京阪バスご利用ガイド」を配架し、ICカード、京阪バスIC１dayチケット及びポイントサービスの普及促進に努めた。	・ICカードを利用した公共交通サービス（京阪バスIC１dayチケット及びポイントサービス）について、市ホームページに掲載するとともに、京阪バスにおいては、バス車内や営業所、案内所等で「京阪バスご利用ガイド」を配架し、ICカード、京阪バスIC１dayチケット及びポイントサービスの普及促進に努めている。			

Ⅰ－２　施策ごとのアクションプラン（取り組み計画）

１－３

施策名	施策概要	目的	所管
(3)運転手の確保に向けた取組検討	少子高齢化等に伴う人口減少により全国的な労働力人口が減少する中、2024年問題以降、公共交通を維持する上で必要不可欠な運転手等の人材不足が、危機的な状況に陥っています。 運転手等の人材確保に向け、就職を希望する学生や若者等に、公共交通の「社会的意義」や運転手の「やりがい」を伝える情報発信を行います。	運転者の人材確保に向けた広報・啓発	交通政策課 交通事業者

年度	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)
取組計画	運転者の確保に向けた広報・啓発活動の実施　（令和7（2025）年度～令和11（2029）年度）				
成果・実績	【京阪バス】 ・ハローワークでの採用セミナー ・沿線施設での夜間説明会 ・バス運転体験会 ・バス運転士等の合同説明会への出展などの啓発活動を行った。 【市】 京阪バスと連携し、広報誌への掲載に向けた調整を行った。	【京阪バス】 ・ハローワークでの採用セミナー ・沿線施設での夜間説明会 ・バス運転体験会 ・バス運転士等の合同説明会への出展などの啓発活動を行った。 【市】 公共交通サービスの向上及び運転手の人員確保を目的として、寝屋川市と京阪バスとの連携・協力に関する協定について協議を行っている。			

Ⅰ－２　施策ごとのアクションプラン（取り組み計画）

２－１

施策名	施策概要	目的	所管
(1)運転免許自主返納の促進	シルバー世代の交通事故を防ぐため、運転免許自主返納を促進し、公共交通に移行するよう、引き続き、ホームページや広報誌等で周知徹底を図ります。	シルバー世代の公共交通の利用促進	交通政策課

年度	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)
取組計画	自主返納の周知　（令和7（2025）年度～令和11（2029）年度）				
成果・実績	高齢者の運転免許自主返納について、大阪府交通対策協議会が作成した様々な特典を受けることができる内容のリーフレットを、公共施設に配架するとともに、市ホームページ及び広報誌に掲載し、周知・徹底を図った。	高齢者の運転免許自主返納について、大阪府交通対策協議会が作成した様々な特典を受けることができる内容のリーフレットを、公共施設に配架するとともに、市ホームページ及び広報誌に掲載し、周知・徹底を図っている。			

Ⅰ－２　施策ごとのアクションプラン（取り組み計画）

３－１

施策名	施策概要	目的	所管
(1)シルバー世代等への公共交通利用促進事業の充実	シルバー世代等の外出促進及び公共交通の利用促進を図るため、「バス利用促進事業」を実施してきましたが、紙券による運用からICカードを活用した運用を検討します。また、高齢介護室が実施している「高齢者交通系ICカード購入補助事業」についても、事業目的や内容、対象等が重複しているため、事業を統合し、公共交通（鉄道・バス）の利用促進になるよう検討します。	ICカードを活用したバス利用促進事業の充実	交通政策課 高齢介護室 交通事業者

年度	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
取組計画	公共交通の利便性向上に向けた検討　（令和7（2025）年度～令和11（2029）年度）				
成果・実績	シルバー世代等の外出促進及び公共交通の利用促進を図るため、令和７年７月１日から、交通系ICカードを活用した「公共交通利用促進補助事業」を導入した。	―			
	【実績（令和７年９月末）】 ・申請件数※4,670件	【実績（令和８年９月末）】 ・申請件数※3,585件			
	【実績（令和８年３月末）】 ・申請件数※12,183件				

※　数値については、寝屋川市交通政策課より提供

【参考（バス利用促進事業）】

R3年度（2021）　利用実績	・シルバー世代（妊婦含む）	利用人数※10,759人	利用率※21.1%	
	・障害者	利用人数※1,459人	利用率※13.9%	
R4年度（2022）　利用実績	・シルバー世代（妊婦含む）	利用人数※13,946人	利用率※27.0%	
	・障害者	利用人数※2,023人	利用率※18.5%	
R5年度（2023）　利用実績	・シルバー世代（妊婦含む）	利用人数※15,341人	利用率※29.5%	
	・障害者	利用人数※2,274人	利用率※22.2%	
R6年度（2024）　利用実績	・シルバー世代（妊婦含む）	利用人数※15,449人	利用率※29.7%	
	・障害者	利用人数※ 2,260人	利用率※22.0%	

【参考（公共交通利用促進補助事業）】

R7年度（2025）　利用実績	対象者数77,192人　申請件数12,183件　申請率15.8%			
	・非課税（65歳～69歳）	申請件数※706人	申請率※12.9%	
	・シルバー世代（70歳以上）	申請件数※10,202人	申請率※18.0%	
	・障害者	申請件数※1,158人	申請率※8.4%	
	・妊婦	申請件数※117人	申請率※7.3%	

Ⅰ－２　施策ごとのアクションプラン（取り組み計画）

３－２

施策名	施策概要	目的	所管
(2)ねやBUSの利便性向上	京阪バス路線のうち3路線（旧タウンくる）が廃止になったことから、市民の移動手段を確保するため、令和6年4月1日から市にて「ねやBUS」を運行しています。 現在、利用者アンケート調査結果の内容を踏まえ、交通系ICカードの利用やバリアフリー化、運行方法等を検討し、市民の利便性の向上を図ります。	ねやBUSの利便性を向上	交通政策課

年度	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
取組計画	ねやBUSの利便性向上に向けた検討　（令和7（2025）年度～令和11（2029）年度）				
成果・実績	【実績（令和７年９月末）】 ・黒原ルート※34,064人、木田・河北ルート※16,124人、木屋ルート※9,559人	【実績（令和８年９月末）】 ・黒原ルート※29,579人、木田・河北ルート※14,618人、木屋ルート※8,426人			
	バス停で待っていて、満車で乗車できないケースがあり、この乗車できない状態を解消するため、LINE予約の導入を進めている。また、現金のみの利用だけでなく、キャッシュレス決済に伴うIC化の導入を進めている。	―			
	【実績（令和８年３月末）】 ・黒原ルート※65,367人、木田・河北ルート※30,920人、木屋ルート※18,053人				
	令和８年１月８日よりキャッシュレス決済に伴うIC化及びバスローションシステムを導入した。 令和８年４月１日よりLINE予約を導入した。	―			

※　数値については、寝屋川市交通政策課より提供

【参考】

R6年度（2024）　利用人数

・黒原ルート※64,275人　・木田・河北ルート※37,773人　・木屋ルート※20,647人

R7年度（2025）　利用人数

・黒原ルート※65,367人　・木田・河北ルート※30,920人　・木屋ルート※18,053人

Ⅰ－２　施策ごとのアクションプラン（取り組み計画）

３－３－１

施策名	施策概要	目的	所管
(3)乗合い事業の拡大検討	現在、乗合い事業は3地区（成田地区、仁和寺地区、河北地区）にて運行しています。今後、事業スキームを見直し、公共交通空白地域への拡大を検討します。	交通不便地域での移動手段の確保	交通政策課 交通事業者

年度	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
取組計画	事業スキームの見直し及び公共交通空白地域への拡大検討　（令和7（2025）年度～令和11（2029）年度）				
成果・実績	引き続き「乗合い事業」として運用するとともに、令和７年10月１日から利用回数制限や利用者証の作成などの事業スキームの見直しを実施。	―			
	【利用実績（令和７年９月末）】 ・成田地区 件数：※3,691件 人数：※3,997人 ﾘﾋﾟｰﾀｰ：※168人 最大：※267回 ・仁和寺地区 件数：※1,094件 人数：※1,253人 ﾘﾋﾟｰﾀｰ：※74人 最大：※122回 ・河北地区 件数：※282件 人数：※389人 ﾘﾋﾟｰﾀｰ：※39人 最大：※44回	【利用実績（令和８年９月末）】 ・成田地区 件数：※2,350件 人数：※2,467人 ﾘﾋﾟｰﾀｰ：※173人 最大：※110回 ・仁和寺地区 件数：※832件 人数：※914人 ﾘﾋﾟｰﾀｰ：※24人 最大：※59回 ・河北地区 件数：※234件 人数：※281人 ﾘﾋﾟｰﾀｰ：※39人 最大：※28回			
	令和７年10月より利用者証を申請者に対して配布し、利用時の提示及び無料での利用回数制限を導入した。	―			
	【利用実績（令和８年３月末）】 ・成田地区 件数：※5,586件 人数：※6,035人 ﾘﾋﾟｰﾀｰ：※198人 最大：※270回 ・仁和寺地区 件数：※1,757件 人数：※2,005人 ﾘﾋﾟｰﾀｰ：※78人 最大：※191回 ・河北地区 件数：※500件 人数：※655人 ﾘﾋﾟｰﾀｰ：※54人 最大：※70回				

※　数値については、寝屋川市交通政策課より提供

Ⅰ－２　施策ごとのアクションプラン（取り組み計画）

３－３－２

施策名	施策概要	目的	所管
(3)乗合い事業の拡大検討	現在、乗合い事業は3地区（成田地区、仁和寺地区、河北地区）にて運行しています。今後、事業スキームを見直し、公共交通空白地域への拡大を検討します。	交通不便地域での移動手段の確保	交通政策課 交通事業者

※　数値については、寝屋川市交通政策課より提供

【参考】

R3年度（2021）　利用実績
・成田地区　件数：※5,531件、人数：※6,048人、リピーター：※197人、最大：※287回
・仁和寺地区　件数：※3,437件、人数：※4,651人、リピーター：※142人、最大：※330回
・河北地区　件数：※630件、人数：※922人、リピーター：※84人、最大：※75回

R4年度（2022）　利用実績
・成田地区　件数：※7,012件、人数：※8,010人、リピーター：※234人、最大：※402回
・仁和寺地区　件数：※3,124件、人数：※4,267人、リピーター：※135人、最大：※299回
・河北地区　件数：※698件、人数：※1,041人、リピーター：※70人、最大：※170回

R5年度（2023）　利用実績
・成田地区　件数：※7,848件、人数：※8,962人、リピーター：※209人、最大：※474回
・仁和寺地区　件数：※2,865、人数：※3,670人、リピーター：※112人、最大：※218回
・河北地区　件数：※376件、人数：※551人、リピーター：※61人、最大：※48回

R6年度（2024）　利用実績
・成田地区　件数：※7,233件、人数：※8,089人、リピーター：※220人、※最大：※518回
・仁和寺地区　件数：※2,444人数：※3,069人、リピーター：※108人、最大：※245回
・河北地区　件数：※382件、人数：※541人、リピーター：※42人、最大：※93回

R7年度（2025）　利用実績
・成田地区　件数：※5,586件、人数：※6,035人、リピーター：※198人、※最大：※270回
・仁和寺地区　件数：※1,757人数：※2,005人、リピーター：※78人、最大：※191回
・河北地区　件数：※500件、人数：※655人、リピーター：※54人、最大：※70回

Ⅰ－２　施策ごとのアクションプラン（取り組み計画）

３－４

施策名	施策概要	目的	所管
(4)EVバス等の推進	令和32（2050）年のカーボンニュートラルの達成や脱炭素社会の実現に向けたEVバス（Electric Vehicle Bus）の導入や、乗車定員の増加が見込める全長11m級のバス（長尺バス）車両の導入、バリアフリーの観点から、ノンステップバス（出入り口の段差をなくして乗降性を高めた低床バス）の全車導入を進めます。	EVバス等の環境対応車両や低床車両等の導入推進	交通事業者

年度	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)
取組計画	EVバスや長尺バス、ノンステップバスの導入　（令和7（2025）年度～令和11（2029）年度）				
成果・実績	【実績（令和6年度）】 ・EVバス：※11台、導入率※3.6% ・長尺バス：今後、道路状況を勘案し検討 ・ノンステップバス：※272台、導入率※89.8% 大阪地区車両数※303台	【実績（令和7年度）】 ・EVバス：※10台、導入率※3.3% ・長尺バス：今後、道路状況を勘案し検討 ・ノンステップバス：※283台、導入率※93.4% 大阪地区車両数※303台			

※　数値については、京阪バス株式会社より提供

Ⅰ－２　施策ごとのアクションプラン（取り組み計画）

４－１

施策名	施策概要	目的	所管
(1)シェアサイクル等の実証実験	シェアサイクルは、市内に複数のポート（自転車の貸し出し・返却場所）を配置し、いつでもどのポートでも自転車の貸し出し・返却が可能な、短時間・短距離の移動を目的とした新しい交通システムです。公共交通を補完し、地域の移動手段の一つとして、近年、全国で導入が進められています。 　公共交通機能の補完・代替、地域の活性化等に資する新たな本市の交通システムとして、シェアサイクルの有効性及び課題を検証するため、運営会社と協定を結び、協働で実証実験を進めます。	新たな交通システム（シェアサイクル事業）の導入	交通政策課

年度	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
取組計画	シェアサイクルの実証実験の実施及び課題の検証　（令和7（2025）年度～令和11（2029）年度）				
成果・実績	公共交通の機能の補完、代替、地域の活性化に資する新たな市の交通システムとしてのシェアサイクルの有効性及び課題を検証するため、実証実験として令和６年10月からシェアサイクルを導入した。	―			
	【実績（令和７年８月末）】 ※・ステーション数：37箇所 ・利用回数：2,989回 ・利用ユーザー数：1,178人	【実績（令和８年９月末）】 ※・ステーション数：85箇所 ・利用回数：27,727回 ・利用ユーザー数：3,346人			
	【実績（令和８年３月末）】 ※・ステーション数：63箇所 ・利用回数：4,701回 ・利用ユーザー数：1,779人				

※　数値については、Open Street株式会社より提供

Ⅰ－２　施策ごとのアクションプラン（取り組み計画）

４－２

施策名	施策概要	目的	所管
(2)駅前広場の整備検討	寝屋川市駅周辺地区は、本市の地理的な中心部に位置し、市内最大の交通結節点であり、市内各所から最もアクセスの高いエリアであることから、都市計画道路「対馬江大利線」の供用や、ターミナル化構想に基づく公共施設の集約配置による、新たな交通体系や人の流れの変化等を踏まえ、安全で利用しやすく、かつ、市の玄関口にふさわしい魅力ある駅前空間にリニューアルします。 萱島駅周辺エリアは、「かやしまリノベーションプロジェクト」の一つの取組として、電車とバス・タクシーとの連絡機能の強化を図り、公共交通結節点としての駅前広場にリニューアルします。また、交通の通過点ではなく、人が憩い、集える交流の場や、新たなモビリティサービスへの対応、災害時の防災活動拠点など、これからの時代に求められる機能を検討します。	駅前広場の整備による公共交通の利便性を向上	交通政策課 都市一課 道路管理課 道路建設課

年度	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
取組計画	駅前広場のリニューアルに向けた整備検討　（令和7（2025）年度～令和11（2029）年度）				
成果・実績	【寝屋川市駅周辺】 ・都市再生整備計画（R7.3作成）に基づく東西駅前広場リニューアルの実施。 ・R7～R8年度　詳細設計業務（R7.7.8～R9.3.12） ・R9～R11年度　整備工事実施予定 【萱島駅周辺】 ▸都市計画道路「萱島讃良線」の整備にあわせた駅前広場のリニューアルについて、事業者との意見交換等を実施。	【寝屋川市駅周辺】 ・寝屋川市駅東側ペデストリアンデッキ及び地下通路改修工事実施予定（R8.10～） ▸都市計画道路「萱島讃良線」の整備の予備設計の内容をもとに、駅前広場のあり方を検討するため、関係機関（電鉄事業者、バス事業者等）との意見交換を実施。			

Ⅰ－２　施策ごとのアクションプラン（取り組み計画）

４－３

施策名	施策概要	目的	所管
(3)都市計画道路「萱島讃良線」の整備検討	「かやしまリノベーションプロジェクト」の一つの取組として、都市計画道路「萱島讃良線」の整備により、周辺エリアの道路とのネットワークを形成し、萱島駅の交通結節点機能の強化を図るとともに、道路整備による延焼遮断帯の確保、無電柱化による災害時の避難経路の確保により、安全性・快適性の向上を図ります。 また、門真市が整備予定の「萱島線」と一体的な整備ができるよう、連携して取り組みます。	都市計画道路「萱島讃良線」の整備による公共交通道路ネットワークの強化	交通政策課 都市一課 道路建設課

年度	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)
取組計画	都市計画道路「萱島讃良線」の整備検討　（令和7（2025）年度～令和11（2029）年度）				
成果・実績	・令和8年度の事業認可取得を目指し、予備設計（R6～R7）を実施。 ・用地取得に係る調査を順次実施予定。（R8～）	・事業認可取得（予定）			

Ⅰ－２　施策ごとのアクションプラン（取り組み計画）

４－４

施策名	施策概要	目的	所管
(4)新たな公共交通サービス導入可能性の検討	高齢化の進展等による、交通弱者や運転免許自主返納者の増加、路線バスの運転手不足による減便・廃止等、今後ますます深刻化するラストワンマイル問題に代表される移動課題の解消に向け、地域ニーズに応じた新たな公共交通手段（AIオンデマンド交通、自動運転、グリーンスローモビリティ等）の導入可能性を検討します。	地域のニーズを踏まえた新たな公共交通サービスに関する取組の推進	交通政策課

年度	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)
取組計画	新たな公共交通サービスの導入検討　（令和7（2025）～令和11（2029）年度）				
成果・実績	国や先行自治体の動向を注視し、地域ニーズに応じた導入可能性を調査した。	民間送迎バス活用の可能性について調査を行った。			

【参考】

資料：国立社会保障・人口問題研究所より高齢化の推移

R7（2025）　30.6%　　R12（2030）　31.9%　　R17（2035）　34.4%　　R22（2040）　38.3%　　R27（2045）40.0%　　R32（2050）41.0%

Ⅱ－２　目標・評価指標ごとのアクションプラン

目標:　公共交通乗降客数の維持

年度	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)
評価指標	路線バスの1日平均乗降客数				
	※41.2千人 R4 (2022)	→	→	→	※41.2千人 R11 (2029)
成果・実績	42.6千人 R5(2023) 前年比 +1,400人				
	【参考】※44.4千人 R6(2024) 前年比 +1,800人				

※　数値については、寝屋川市統計書（各年）

【参考】※　京阪バス株式会社より提供

【参考】

R5（2023）　京阪バス主要停留所の１日の乗降客数

・京阪萱島駅前※315人　　・寝屋川市駅東口※6,042人　　・寝屋川市駅西口※4,213人

・香里園※11,571人　　・寝屋川公園駅※245人

年度	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)
評価指標	ねやBUS黒原ルートの1日平均乗降客数				
	※184人 R6 (2024)	→	→	→	※184人 R11 (2029)
成果・実績	※176人 R6(2024)				
	※179人 R7(2025)				

※　数値については、寝屋川市交通政策課より提供

年度	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)
評価指標	ねやBUS木田・河北ルートの1日平均乗降客数				
	※111人 R6 (2024)	→	→	→	※111人 R11 (2029)
成果・実績	※103人 R6(2024)				
	※85人 R7(2025)				

※　数値については、寝屋川市交通政策課より提供

Ⅱ－２　目標・評価指標ごとのアクションプラン

目標:　公共交通乗降客数の維持

年度	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
評価指標	ねやBUS木屋ルートの1日平均乗降客数				
	※60人 R6（2024）	→	→	→	※60人 R11（2029）
成果・実績	※57人 R6(2024)				
	※49人 R7(2025)				

※　数値については、寝屋川市交通政策課より提供

年度	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
評価指標	鉄道4駅の乗降客数				
	※14.0万人 R4（2022）	→	→	→	※14.0万人 R11（2029）
成果・実績	※14.16万人 R5(2023) 前年比 ＋1,600人				
	【参考】※14.28万人 R6(2024) 前年比 ＋1,200人				

※　数値については、寝屋川市統計書（各年）

【参考】※　京阪電気鉄道株式会社及び西日本旅客鉄道株式会社より提供

【参考】

R5（2023）　京阪電気鉄道株式会社及び西日本旅客鉄道株式会社市内４駅毎の１日の乗降客数

・萱島駅※24,777人　・寝屋川市駅※56,980人　・香里園駅※51,666人　・寝屋川公園駅※8,130人

Ⅱ－２　目標・評価指標ごとのアクションプラン

目標:　公共交通サービスに対する満足度向上

年度	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)
評価指標	鉄道の満足度				
	※45.1% R6 (2024)	→	→	→	※50.1% R11 (2029)
成果・実績	―	―	―	―	

※　数値については、寝屋川市地域公共交通計画

年度	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)
評価指標	路線バスの満足度				
	※32.2% R6 (2024)	→	→	→	※37.2% R11 (2029)
成果・実績	―	―	―	―	

※　数値については、寝屋川市地域公共交通計画

Ⅱ－２　目標・評価指標ごとのアクションプラン

目標:　シルバー世代の移動支援や公共交通利用促進

年度	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
評価指標	シルバー世代の「ほぼ毎日外出する人」の割合				
	※41.7% R6（2024）	→	→	→	※46.7% R11（2029）
成果・実績	―	―	―	―	

※　数値については、寝屋川市地域公共交通計画

年度	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
評価指標	シルバー世代の運転免許自主返納の割合				
	※3.6% R4（2022）	→	→	→	※3.6% R11（2029）
成果・実績	令和5、6年の本市の自主返納者数などの数値について、大阪府警に確認したところ、システムエラーが発生しデータが集計できないことから未公表。	令和5年以降の本市の自主返納者数などの数値について、大阪府警に確認したところ、システムエラーが発生しデータが集計できないことから未公表。			
	【参考】 全国 ※2.13% R6(2024) 大阪府 ※2.83% R6(2024)				
	【参考】 全国 ※2.14% R7(2025) 大阪府 ※2.52% R7(2025)				

※　数値については、大阪府警より提供